

令和8年5月定例記者会見要旨

開催日時 令和8年5月19日（金）午前10時30分 302会議室

（総務部長）

令和8年5月市長定例記者会見を始めさせていただきます。

（市長）

日頃から諏訪湖記者クラブの皆さんにはお世話になりまして、ありがとうございます。この定例記者会見でも、記者クラブでお顔出しくださる記者の皆さんが増えてうれしく思います。どうぞよろしくお願いいたします。それでは、このゴールデンウィークにおける観光動向の結果が出ましたので発表させていただきます。

○連休（4/29～5/6）における観光動向

令和8年度、4月25日から5月6日の12日間の入込状況の数字となります。上諏訪駅前にある諏訪市観光案内所の利用者数ですが631人、霧ヶ峰自然保護センター1,218人、高島城4,137人、間欠泉センター3,966人であります。JR上諏訪駅前の諏訪市観光案内所の利用者数は、対前年で98.1%、霧ヶ峰は125.8%、高島城106.1%、間欠泉センターは84.8%となっています。このゴールデンウィークは、前半が平日に近い形の飛び石になっていたことで、後半5連休は来訪者が多く集中した傾向がございました。一方でコロナ禍を経て、観光客のマイカー利用がだんだん復活してきているという傾向があります。一部の観光地ですが、立石公園周辺などでは、渋滞や混雑などオーバーツーリズム的な状況が確認されております。ただ、観光地としては、多くの観光客にお越しいただき、ありがたい入り込み客であったと感じております。皆さんにも報道等でご協力をいただきありがとうございました。

＜5月の主な行事予定・報告＞

○令和8年度 すわ未来創造「子どもゆめプロジェクト《ゆめプロ》」

このプロジェクトは、昨年、一般社団法人プラチナ構想ネットワークから「プラチナ大賞」で会長特別賞をいただき、長野県からも評価をいただいている取り組みです。諏訪市としては、これからの社会のつくり手として諏訪の未来を担う小中学生が、地域を知って自分なりに問いを立てて、協力し合いながら探求し、諏訪市の教育大綱が目指す「学びの和」を創る趣旨で実施するものとなります。全体のテーマは、「私たちがつくる諏訪の未来」です。

5月14日現在で、諏訪市の小中学生12名のエントリーがあります。高校生のサポーターは若干名募集中です。

公立諏訪東京理科大学の学生サークル「チノリカ」のメンバーや、長野県福祉大学校の学生など、伴走者の対応をお願いしています。

子どもたちは年間を通じて熱心に取り組んでおり、市長や教育長への提言に向けて張り切って取り組まれていることがとても微笑ましく、昨年は大変嬉しく見てまいりました。今年の成果も期待しているところです。

令和8年度の全体テーマを「私たちがつくる、諏訪の未来」として「①水と緑があふれる豊かな環境をつくるまち」、「②ゼロカーボンシティとして資源を大切にできるまち」、「③人と環境にやさしい『ものづくり』の情熱があふれるまち」の3つの視点を持って、一人一人が知恵を出し合い、答えを探します。

- ・日 時 令和8年5月23日（土）
午後1時30分～午後4時00分
- ・場 所 駅前交流テラス すわっちゃオ
- ・内 容 キックオフ・イベント、ワクワクオリエンテーション等
- ・参加者 市内小中学生12名（5/12現在）、学生サポーター 約10名（募集継続中）

※公立諏訪東京理科大学の学生ボランティアメンバーや、長野県福祉大学校の学生の皆さんにもご協力をお願いしていますが、高校生サポーターは募集を継続中です。

○諏訪市議会 定例会

招集日：5月26日（火） ※日程は議会運営委員会にて決定

本議会より新たに諏訪市議会の議員の皆さんにおいても、議案等をデータで送付する形に変更します（DX化が進んでいます）。

○市政懇談会 「ゆかり市長とまちかどトーク」

- ・目的及びトークテーマ

“磨けば輝く 透明度日本一の 高原湖畔都市”の実現に向け、本市が行う重要施策を市民に伝え、市政への関心を深めてもらうとともに、市民の声を直接聞き、市政運営や課題解決の参考とします。

7月23日（木）午後7時00分 諏訪市役所 5階 大会議室

広報すわ6月号にも掲載する内容となります。

現在「ゆかり市長の出張トーク」を開催していますが、これは私が皆さんのもとに伺うものです。「まちかどトーク」は年1回のイベントで皆さんに市役所へお越しいただくものとなります。

今年のトークテーマは、「諏訪湖イベントひろば」です。ここで建屋が解体となりますが、次のステージに進めるために、「基本計画をもとに諏訪湖イベントひろばに〇〇があったらうれしい!!」をテーマといたしました。多くの皆さんにご参加いただきたいですし、当日は諏訪市のYouTube公式チャンネルでライブ配信も行う予定です。

次に配布しました月間スケジュール表をご覧くださいながら、ポイントを申し上げたいと思います。

<月間スケジュールの確認>

6月7日には、諏訪市消防団のポンプ操法大会が行われます。

6月28日には、スワコエイトピークスミドルトライアスロン大会2026が開催されます。

今年は参加者が昨年よりも増えて、準備が盛況に進んでいると、報告を受けています。大いに盛り上がっていただけると嬉しいです。

その他色々な会議が予定されておりますが、6月12日（金）諏訪市総合教育会議が行われます。今回のテーマは、「文化センターのリニューアル後のビジョンと運営方針について」、がテーマとなります。

6月15日（月）には、信州やまなみ国スポ諏訪市実行委員会の第1回実行委員会が行われます。

6月21日（日）は、「いきいき市民推進チーム☆輝くSUWA」が中心となり、総合福祉センターを会場に、男女共同参画活動をリードしてこられた、社会学者であります上野千鶴子先生をお招きして講演会を行う予定となります。

その他にも、6月19日には、諏訪市日中友好協会の定期総会などがあります。6月22日には「社会を明るくする運動の推進委員会」、その他には国土交通省への要望活動などもあります。

全国市長会が東京で開催されますので、私の出張も多くなります。
皆さん、是非イベント等について取材をよろしくお願いいたします。

もう一つインフォメーションをさせていただきます。

第78回諏訪湖祭湖上花火大会の市民先行販売の申込み状況の報告です。

席種の見直しや有料チケット販売方法をインターネットのみとするなど、市民枠についても昨年度からの変更点がいくつかありました。

個人協賛・ふるさと寄附金・有料チケットとともに、好調な状況です。

市民先行販売の申込みは、今月5月22日（金）までとなっておりますので、ご希望の方は早めにインターネットでエントリーしてください。

個人協賛関係は、例年より一ヶ月早く申込みを開始したことで、全体的に好調です。また、全国に枠を広げたことで4倍以上の申込みがあります。

プレミアムマスは前年比2倍以上の申込み状況で、こちらも好調です。有料エリアは全体的に高倍率のため、売れ行き好調と捉えております。

中央エリアは、「プレミアムマス」「一般マス」「ハーフマス」「ブロック」の4種は1.2～4.1倍の申込み状況となっております。

湖畔エリアは、「湖畔イス」2.4倍、「湖畔ペア席」1.0倍、「中央エリアに続いて売り上げが好調」のエリアは、値段が比較的安価であったこと、イス席のため場所取りが不要ということが、人気の要因と推測しています。

「フードコートテーブルイス席」は、1.25倍と好調を維持しています。

5月22日（金）までが市民の申込み〆切。抽選結果は、5月29日（金）以降にメールで通知いたします。その後、6月8日（月）からは、全国に向けて一般販売がスタートします。

8月15日の本番に向けて、実行委員会の準備作業を進めてまいります。今年もご来場の皆さんに感動していただける花火大会を目指していますので、よろしくお願いいたします。

す。

最後に、教育委員会関係の6月予定表を配布させていただきました。
こちらから用意した物は以上となります。よろしくお願いいたします。

<諏訪湖記者クラブ・質疑応答>

○第188回北信越市長会総会の開催について

(記者)

本日の発表内容にはありませんでしたが、明後日（令和8年5月21日）北信越市長会の総会がいよいよ迫ってきたということで、もし皆さんで取りまとめて要望される内容や、諏訪市からの提案など、力を入れて要望活動していきたいと考えていることがあります。お知らせください。

(市長)

21日の木曜日、33年ぶりに諏訪市での開催となります。
現在、実行委員会が佳境を迎えておりまして、69市の市長や随員の職員が集結するということで、心強く、また成果の上がる大会にしようと、準備を進めています。
要望の審議を三つの部会で行いますが、北陸信越5県の市長会から上がってきた要望を、6月の全国大会の議案として、提出するための協議を行います。案件がたくさんありますので、今ここで私の立場で取り上げるのは僭越かと思えます。
当日は議長の職を開催市が務める必要があるということで、皆さんの意見をまとめる予定であります。

(記者)

関連ですが、当日はメディアの取材は可能ですか、また、取りまとめのときに何かペーパー的な資料が出ますか。そしてそれはいつ頃に提供されるのか教えてください。

(市長)

メディアの取材は可能です。総会では、メディアの参加も可能ですが、その時の議事によって、指示に従っていただくことになると思います。北信越市長会は、分科会が開かれたり、北陸新幹線関係市の総会が同時に開かれたり、複層的に色々な会議が開催されますので、長野県市長会や北信越市長会長等の取材は、時間が限られてしまうかもしれません。総会の後、一部の時間かもしれませんが、確認させていただきます。現段階でお伝えできることがあれば、後ほど諏訪湖記者クラブにお知らせいたします。それから、議案につきましては、今回諏訪市開催ということで、DX導入によるペーパーレス化を提案しました。北信越市長会は5県（福井県・石川県・富山県・新潟県・長野県）あり、それぞれ進捗状況は違っていましたが、最終的に同意をいただきました。今まで膨大な情報を冊子に仕立て配布しており、修正があった場合には議案修正を行い、もう1回配るといような作業をしていましたが、これをペーパーレス化しようということで取り組んでいます。もちろん、情報については公開いたします。

(記者)

ペーパーではなくてよいのですが、情報提供という面では、当日夕方、諏訪市のホームページなのか、あるいは、北信越市長会事務局のホームページに掲載されるのでしょうか。

(市長)

北陸信越市長会事務局のホームページだと思います。確認いたします。

(記者)

当日、記事が書ければと思いますが。

(市長)

総会も取材可能だと思いますが、確認して諏訪湖記者クラブに連絡いたします。

○諏訪市議会 6 月定例会について

(記者)

5月26日開会予定で市議会6月定例会に関してですが、先ほど報道陣にも議案が配布されました。6月補正予算の中で立石公園の公園駐車場の増設について、設計委託料が盛り込まれていますが、まだ提出前なのは重々承知ですけれど、場所も含めて概略を伺えますでしょうか。

(市長)

立石公園は、ご承知のとおり人気スポットとなっており、人気があることは大変ありがたいことですが、特に人が集まる連休等の休日には車列が長くなり、車の渋滞から人が集中することでオーバーツーリズムとなって、住民の皆さんや、そこに住んでおられる方たちからも、不都合の声が寄せられてまいりました。

これまでの対策として、立石公園にライブカメラを設置し、インターネットで立石公園の利用状況をリアルタイムで確認できる環境を整えながら、車でお越しの方には事前に確認いただけるようにしたり、あるいは、ガードマンを配置したりしました。

車の流れもスムーズにいくような工夫をし、お越しいただく方のストレス解消に努めてまいりました。しかしながら、予想を上回る多くの方にお越しいただくことで、オーバーツーリズムの状況が解消できないことから、駐車場の拡充を検討してまいりました。その結果、立石公園の上の方にある市有地・空き地を活用し、およそ20台の駐車場の増設に係る設計の予算案を今回提出いたします。

(記者)

ありがとうございます。場所は立石さくらひろばということですよね。

さくらひろばの土地は市有地というように聞いていますが、桜の木もある関係で、地元において合意はできているのでしょうか。

(市長)

地元にも話をして、その地元の方たちが渋滞でご苦労されているということでもあります

ので、その解消、そして駐車場から徒歩で坂道を下って今の公園に降りてこられる状況となりますので、歩行者の安全も考えてということとなります。

地元との合意や経過についての具体的な報告は、受けておりません。確認をいたします。

○市政懇談会「ゆかり市長とまちかどトーク」について

(記者)

もう1点お願いします。先ほど話題提供いただきました、7月23日の「ゆかり市長とまちかどトーク」の関係です。今回テーマが諏訪湖イベントひろばに特化しているように思いますが、かねて市長の方で基本計画のブラッシュアップというのを仰っていました。ブラッシュアップは、いわゆる磨きをかけるということだと思うのですが、その辺の進捗について伺います。

(市長)

諏訪湖イベントひろばについては基本構想を作り、さらに基本計画を令和のはじめに策定しております。ところがコロナ禍に突入したことで、それから建屋の解体のための調査と、許可をいただくまでの手続きを進めていました。

少し時間が空いてしまったこともあって、基本計画をもとに、具体的にどのようなアクション、どのような機能をこのひろばが果たしていくのか、ということについて、もう一度再確認しながら、皆さんの要望を具体化する参考にしたいという思いがありました。それがブラッシュアップです。全ての市民の皆さんどなたでも参加していただきお話できる計画ですけれども、その他に経済業界の商工業、特に工業メッセに希望を寄せられる皆さんですとか、観光面等、基本計画の中に、このひろばを使う要素が組み込まれています。

あるいは防災、大規模災害の拠点を整備していく計画も入れていくこととなりますが、関係する皆さんとの意見交換のようなものを、行いたいと思っています。この市政懇談会まちかどトークを使って、皆さんがどんな風に思われているか把握したいと考えています。その後、時間が経ってしまいましたので、「基本計画までできている」ということ忘れてる皆さんもいらっしゃると思います。そのことをもう一度リマインドしていただいて、そして、その延長線にどのようにしていくかを共有する場になれば、ありがたいと思っています。

(記者)

ありがとうございます。

確認ですが、市長のおっしゃるそのいわゆるブラッシュアップの一つであって、今回市民からの意見を広く募るということと、それとは別に改めて、いわゆる経済界の皆さんとの話し合いの場を設けたい、という内容で捉えてよいですか。

(市長)

基本構想や基本計画を立てる時も同じように、業界の皆さんとの懇談会は個別に行いました。それによって計画を作ってきたという経過もありますのでもう一度、ブラッシュアップということでやりたいと思います。

(記者)

基本計画の後は、次のステップとなりますが、実施計画とかあると思うのですが、そのブラッシュアップした後、直にその実施計画に移るのか、それとも基本計画を見直すのか、その点についてはいかがでしょうか。

(市長)

その先については、段階を踏みながら、見極めていきたいと思います。
今現在基本計画を変えるという意思はありません。

(記者)

未定ということですね。

(市長)

次のステップについては、色々な情報がありますので、整理して、担当部局が計画を立てることになりますので、それを待ちたいと思います。

(記者)

何か実際に施設を整備していくかなりのスケジュール感は、現時点ではどのようにお考えでしょうか。

(市長)

一般的には、基本計画ができてそのあとは、実施計画、次に建設の具体化という流れがありますが、何かを建設するということだけが、このひろばの目的ではなくて、防災の拠点としての空間がどのくらいなければいけないとか、あるいは観光の関係で周辺環境整備というのも入ってくるかもしれません。ですから、一つの単体の建物に対する扱いとはちょっと違っているということになります。

(記者)

箱物を建てる、建てないというのは別にしても、それを施設整備ということでお金をつけていくわけですね。となると当然のことながら、その予算規模であるとかそのスケジュールであるとか、策定していく話にならっていくと思うのですが、そのあたりのスケジュール感を伺いたいのですが。

(副市長)

今、駅周辺で取り組んでいる、文化センターの整備が令和7年から3年間で予定しています。その先に、駅の西口整備、これが10、11、12年で予定をしています。その次の第3弾としてイベントひろばの整備を構想しております。大きなスケジュール感とすればそのような話ですけど、先ほど市長が申したようにこれからブラッシュアップしていく中で、もう少し具体的な話が決まってくるとご理解をいただければと思います。

(記者)

そうすると西口整備が、令和12年度で終了ということでしょうか。

(副市長)

西口整備のステップの1が終了ということです。

(記者)

そのあとにそのステップ1の後に、イベントひろばっていう話ですよね。令和13年度から、事業着手するのでしょうか。

(副市長)

令和13年度に着手という意味ではなくて、令和13年度以降に、イベントひろばに事業の主体が移っていくという構想です。

(記者)

移っていくというのはどのような水準・レベルですか。

(副市長)

それはこれからです。

(市長)

文化センターも駅西もそれからイベントひろばも同時並行で準備を進めております。何もやらないっていうのではなくて、そのように準備段階が複層的に進んでいる中で、予算を進めていくということは、大変難しいですね。

(記者)

それは分かるのですが、副市長が令和12年度に一応の目途を第1ステップとする西口の整備を終えて、その次の段階からひろばの方に移るとおっしゃったので、令和13年度以降どの程度、このイベントひろばについて考えているのかを伺いたいです。

(市長)

それも未定です。どのような段階で、どこから着手するかとか、そういうこともこれから整えるということです。

(記者)

未定ということで理解しました。

○諏訪商工会議所からの要望書の提出について

(記者)

話題が変わりまして、過日諏訪商工会議所の方から、原油の供給不足の影響を受ける事業者支援の要望が提出されたと思いますが、その対応についてはいかがでしょうか。

(市長)

要望を受けまして、今議会に二つの議案を予算案として提出いたしました。一つは制度資金融資枠の拡大です。そしてもう一つは、昨年実施をいたしまして大変事業者の皆さんから好評でした、業者間取引のプレミアム付き商品券これを発行いたします。2点を対策として、用意しました。

(記者)

6月議会にこの予算が提出されているということでしょうか。

(市長)

本日、議案送付している中に含まれておりますので、ご確認いただければと思います。

○来年春の統一地方選挙について

(記者)

気が早い話ですが、来年春の統一地方選挙で市長選も控えています、6月定例会で何か言及される予定はありますか。

(市長)

まだそのような段階に至っておりませんので、予定はありません。一生懸命目下のことを取り組んでまいります。

(総務部長)

それでは以上をもちまして、令和8年5月市長定例記者会見を終了とさせていただきます。引き続きよろしくお願い申し上げます。
ありがとうございました。